

## 日刊工業新聞社・型技術 2015年10月号

定価(税込) 1,420円

**【特集】**  
**難成形材に対応する金型材料と加工技術**

近年、自動車分野を中心に軽量化などを目的とした難成形材部品の採用が進められ、成形技術の高度化とともに型材の特性向上が求められています。また、非球面ガラスレンズ金型やプレス打抜き型に用いられる超合金やセラミック製の高硬度金型の機能強化が進んでいます。一方、それらの高機能型材の導入に向けては金型加工技術の進展が必要になってきます。

そこで本特集では、事例をもとに最近の難成形型の特徴や開発動向、また加工技術を紹介します。

**総論**

金型材料(工具鋼)の最新動向 九州工業大学 日原政彦

**解説**

高硬度金型材料における切削加工技術 中部大学 鈴木浩文

**事例**

●低 Si 金型材料適用による熱間鍛造型の摩耗改善事例  
大同特殊鋼 横井直樹

●超ハイテン成形における金型技術と実型での評価事例  
日立金属 白石英資  
ホンダエンジニアリング 秋庭弘克

●金型の新鋼材「エコダイス」の特徴と活用展開  
深江特殊鋼 木村雅昭

●温・熱間鍛造用耐熱・高寿命金型材料の開発  
ノアロイ 林 憲一

●**放電プラズマ焼結(SPS)法の金型分野への応用**  
**エヌジェーエス 梶田正雄**

●セラミックスの金型材料の開発と応用  
日本タングステン 永野光芳

●超硬金型のリユース技術の開発  
マツダ 松田英成

●バインダレス超合金の切削・研削加工技術開発の取組み  
協栄プリント技研 小林明宏

●TECHNICAL REPORT  
樹脂成形の“地産地消”を実現する「スマート成形システム」の提案  
ベストテクニカル 浪岡 健

●ダイレクトサイドゲートホットランナ  
サイクルタイム、品質、稼働時間に対するホットランナの影響  
ハスキー Jean-Michel Cunche

